

## 空き家対策

### 増え続ける空き家、その対策は

答弁…空き家の実態調査を早急に進めるべきと考えており、地域の皆様にもご協力いただきながら、把握に努めてまいりたいと考えております。空き家対策については、できるだけ早く事務を進めてまいります。

新井 好一 議員

新井 全国では約820万戸ともいわれるほど空き家が増え続けています。本市も例外ではなく、空き家の増加が見受けられ、住民からその空き家に対して苦情や相談が寄せられているとこのことです。

今後は、施行された空家特措法や平成27年5月26日に制定された「特定空家等に対する措置」に関する適切な実施を図るために必要な指針等に基づき、問題のある空き家を正確に把握し、その対策を講じていくことが喫緊の課題です。空き家の有効な活用も含め、空き家対策について、考えをお伺いします。

市長 市で把握している空き家は、総数で107件、その内、管理不全の空き家が58件でありま

## 教育環境の整備

### エアコン設置に関する考えは

答弁…加須市の教育環境の整備につきましては、老朽化対策等が喫緊の課題となっており、毎年計画的に対策を講じております。当面は、年間を通して使う施設を優先的に整備してまいりたいと考えております。

中條 恵子 議員

中條 教育環境の整備については、暑さ対策として、扇風機やミストシャワー等を設置してあります。しかし、近年、都市化や地球温暖化等により記録的な猛暑が続き、健康維持にも影響が出ています。暑い教室の中で学習している子どもたちのことを考えたとき、教室へのエアコン設置は必要不可欠です。

設置するためには相当の費用がかかりますが、県内各市のエアコン設置状況や、市民の皆様からの要望も踏まえ、加須市の宝である子どもたちの学習環境をより最適なものにするためにエアコンを設置していただきたいと思いますがお伺い

## 県営農地防災事業

### 稲荷木落排水路整備事業の早期実現を

答弁…大利根地域の溢水対策のためには稲荷木落排水路の整備が必要であり、市としては、この事業について、最大限の財政負担も含めて、進捗が図られるよう国や県に要望してまいります。

松本 英子 議員

松本 大利根地域では、近年の農地の宅地化等により排水量が増大し、現在の水路では雨水が排除しきれず、大雨時には溢水被害に見舞われております。

農地防災事業により推進している大利根地域の基幹的排水路である稲荷木落排水路整備は、低下した排水能力を回復し、溢水被害の未然防止を目的として重要な事業であり、早期に事業を実現することが必要です。国の財政問題や計画変更等により、事業の進捗が予定より遅れています。が、早期実現に向けて、国や県への要望や財源の確保について力を尽くしていただきたいと思いますがお伺いします。

市長 大利根地域は関東地方における最大の地盤沈下地域といわれていることから、溢水対策には基幹的な排水路である稲荷木落排水路と十王堀排水路の整備が重要であると

考えております。市としては、この事業について、最大限の財政負担も含めて、進捗が図られるよう国や県に要望してまいりたいと考えております。

ただ、この排水路は土地改良区の管理であり、土地改良区と、さらに国と県と市が関係していることから、各機関の財政状況によっては全体事業の進捗に影響が与える可能性もあるため、その点については、十分働きかけてまいりたいと考えております。